

別記第2号様式（第3条関係）

視察概要書

1 視察日時 令和4年10月20日（木）午前9時30分～午前11時00分

2 視察先 香川県宇多津町議会
（住所：香川県綾歌郡
宇多津町1881番地）



3 調査事項 がん検診受診率向上に対する取り組みについて

4 視察先概要

(1) 挨拶 宇多津町議会 議長 宮本 隆 氏

(2) 説明者 宇多津町役場 教育次長 原岡 稔之 氏
健康増進課 職員2名

(3) 視察先概要：香川県宇多津町

ア 人口： 18,375人（令和4年4月1日現在）

イ 面積： 8.10km²



宇多津町議会 宮本議長 挨拶



中尾市民厚生委員長 挨拶

5 調査項目：

- (1) がん教育を始めた経緯について
- (2) がん検診受診における周知方法について
- (3) がん検診推進における啓発活動の実施について
- (4) がん検診推進における補助などの費用面での取組みについて
- (5) がん検診受診率の実績について
- (6) がん検診を推進するに当たっての今後の課題について

6 視察の目的：がんの死亡率が増加している日本において、がんに対する早期発見の観点から、がん検診の受診が非常に有用なものであり、がん検診の受診率が増加している取組みを展開されている宇多津町を調査・研究するもの。

7 施策等の概要：宇多津町は、がん検診の受診率が増加しており、がん教育や講演会、ほかに市単費による助成金などががん検診受診率向上に向けた様々な取組みを行っている。

8 主な質疑応答

Q 1 検診において、保険税というかたちで値上げに影響しているか。

A 1 検診を手厚くしたからといって、税金を上げようということにはなっていない。

Q 2 一般検診の助成に関する予算計上額はどのくらいになっているのか。

A 2 3年度の決算において、がん検診の委託料でいうと検診そのものの委託料が約3,500万円、案内送付に関する委託料が約1,000万円、あわせて約5,000万円ほどになっている。

Q3 がん教育やがん検診に対する様々な取り組みを行うことで、住民の方の意識の変化により、健康を考えて自主的に運動することが多くなったとか、高齢者であれば介護予防に進んで参加するなど何かがんに対する取り組みで変わったことはあるか。

A3 直接的な答えにはならないが、高齢者による介護予防の体操教室が町内に30数か所あり、参加者数も軌道にのっていたがコロナの影響で中止になることが多くなり、足が遠くなってしまったという状況にはあるが、また、みんなと一緒にしたいという話は頂いている。

9 考察

ア 現状や事業効果

(1) がん教育を始めた経緯（きっかけ）について

新しい学習指導要領の中にもがん教育が取り込まれ、がん対策基本法の中にも地方公共団体の学校教育部や社会教育において、がんに関する教育の推進というところも明文化されている。宇多津町の特色的な取り組みとしては、中学2年生を対象に平成25年から毎年、東京大学大学院総合放射線腫瘍学講座の中川恵一特任教授を招き、宇多津中学校でがんの予防やがんに対しての教育の講演を行っている。啓発の趣旨としては、がんは遺伝というのが少なく、最大の原因は、たばこをはじめとする生活習慣であり、男性が生涯で3人に2人が、女性だと2人に1人ががんになっている。男性が多いのはたばこやお酒といった生活習慣に関係している。また、中学2年とした理由は、小学生だと体のしくみということで内容が理解しづらいと、中学3年では、受験等時間的な問題もあるため、中学2年を対象としている。自分自身にも関心が持て、内容が理解できた上で家族とも話ができるからということである。自分の生活習慣を今から作っていけることもあり、正しい知識を持つことが何より大切になっている。がんというのは、早期発見が重要であり、年に1回検診を受けていれば、早期で見つかるため、定期的な検診が大事になってくるといった授業をされている。実際、がん教育をはじめて9年に経ち、中学2年だった子どもも社会人になっており、検診の向上にどこまでつながっているかは不明だが、正しい知

識を得ることで、自分の生活習慣も考え直し、今後の検診も受けてもらえるのではないかと考えている。

(2) がん検診受診における周知方法について

(3) 啓発活動について

周知方法について、住民の方にリーフレットのご案内を送付している。リーフレットには申込書も在中しており、また、どの検診を受けれるかといった検診の一覧も表記している。そして、受ける際に、申込書を返信してもらっている。基本的に、宇多津町は小さい町なので集団検診を実施しているが、少しずつ病院での個別検診が広がってきている。そのほか、受ける時期についても選択肢が多岐にわたっており、なるべく住民の方の希望に添えるような形で予約をとっている。一方で、受けないという選択肢にチェックするところがあり、理由を選んでもらい、別の機関で検診するというのであれば、その方には案内を送付しないようにしている。

予約に関しても、予約後、日時を変更したいときには連絡もしくは本年4月よりウェブで変更ができるようになっている。このような一連の流れで周知と啓発を兼ねて検診の案内を行っている。

(4) がん検診推進における補助などの費用面での取り組みについて

特定健診：40歳～69歳 1,000円（自己負担）

非課税世帯の方 500円（自己負担）

検診費用について、もともと医療費と同様に約3割負担をお願いするはずだったが、町の負担として8割、9割の負担をしている。検診に関して、国の補助金はなく、全て一般財源で実施している。

(5) がん検診受診率の実績について

がんの各検診において、令和2年度実績の都道府県別でいうと、全て全国平均より比較的高めを推移している。

香川県内の市町でいうと、令和2年度実績で、県内の中でも宇多津町は比較的高い受診率を維持しているが、全国的に新型コロナウイルスの影響で受診率が下がっている状況になっている。その中で、コロナ禍ではあるが、時間予約であったり、消毒であったり、検診できる病院の枠を上げたり、ほかの市町の

医師会や病院とも連携しながら、住民の方が安心して検診できるように行っている。

現状の課題としては、やはり、新型コロナウイルスの影響により、検診率が伸びていないところがあるので、いかに住民の方が安心して検診できる環境をつくるかが課題として考えられる。

イ 本市に導入できることや検討

高齢社会で寿命が延びている一方、がんの死亡率が増加している。そのような中、がんに対する早期発見の観点から、がん検診の受診が非常に有用なものであることがわかっている。そのために、中学校において、がん教育を実施することで、若い世代が正しい知識とこれからの生活習慣についてを考え、それを持ち帰って親に話すことで、親世代の検診受診のきっかけや総合的な将来の医療費削減にもつながるものと考えられる。市単費の検診に対する助成については、本市の財政状況を鑑み費用面での調整、また、先を見据えた検討及び協議を十分に行う必要があると言える。

ウ 本市に導入した場合の課題

がん教育により、若い世代、親世代に対するがんに対し、正しい知識を持ってもらうことも重要だが、まずは、職員が検診についての重要性を持つことが課題であり、検診における助成についても検討の必要がある。



市民厚生委員 質問



担当課 説明